

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成27年 5 月 22 日			
所属学部・研究科	文学部/研究科 3 年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ミネソタ大学 (国名: アメリカ合衆国)			
所属学部・学科等名	Collage of Liberal Arts(CLA)			
在籍身分	Non-degree-seeking student			
留学期間	平成26年 8 月 22 日～平成27年 5 月 16 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: J-1 ビザ			
	ビザ申請先: 大阪			
	取得方法, 提出書類: 事前に大使館に情報をオンラインで提出。その後面接の予約をして、面接を大阪で受けた。面接の際必要書類 (パスポート、DS-2019、学業成績証明書 [英、日文]、貯金残高証明書 [英、日文]、SEVIS I-901 支払証明など)を提出。ビザは面接後5日ほどで郵送。			
	手続きに要した日数: 申し込みを始めて2週間ほどで取得。必要書類の取得は早めに始めた方がいい。			
その他必要な事前手続き	ミネソタ大学のメールアドレス開設、航空券の購入、自動車免許更新、予防接種、国際交流グループに緊急連絡先の提出など			
出国年月日	平成26年 8 月 22 日			
経路	東京—シカゴ—ミネアポリス			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・ 大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	オリエンテーションは学期が始まる前に2つあった。一つは交換留学生用。もう一つは留学生用。			
帰国年月日	平成27年 5 月 18 日			
経路	ロスアンゼルス—東京 (帰国前に旅行をしたため)			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	150万	円	
	内訳	渡航費	25万	円
		保険料	20万	円
		教科書代(学費)	4万	円
		宿舍費	45万	円
		食費	40万	円
		その他 (旅行 費)	25万	円
	(費)		円	
	(費)		円	
3. 授業について				
2014年 秋 学期	9 月 5 日 ～ 12 月 18 日			

2015年 春 学期	1 月 18 日 ~ 5 月 16 日		
年 学期	月 日 ~	月 日	
年 学期	月 日 ~	月 日	
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	専門的な知識が必要とされる授業以外は何でも自分の興味のある授業を取ることができる。ただ TOFLE や IELTS のスコアが向こうの要求するものを下回っていると、ミネソタ大学の英語のテストを受けることを要求される。またそのテストで一定のスコアをクリアできなければ指定された ESL の授業を取らなければならない。		
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること		
学術面に関する後輩へのアドバイス	予習と課題をこなすのは大変だと思いますが、慣れてくれば大丈夫です。これらがうまくこなせるようになると充実した学習ができると思います。		
4. 生活等について			
(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()		
住居の広さ	約 12 m ²	同居人の有無	<input type="checkbox"/> 有 (人) <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()		
住居費	1ヶ月当たり \$450	(現地通貨)	約 54,000 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input checked="" type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()		
留学先での住居全般に関するアドバイス	寮に住むとミールプランをつけなければなりません。しかし平日は7時から12時くらいまでやっているのが便利です。一人部屋もあります。		
(2) 医療について			
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> なかった		
入院した場合	により 日入院		
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった		
掛けた場合	<input type="checkbox"/> 日本 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()		
掛け金は	年間 20万 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()		
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	ジフテリア, おたふく (2回), はしか (2回), 風疹 (2回)		
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:		
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	ミネソタ大学では大学の保険に入ることが義務づけられています。大学内に病院があり無料で診察してもらうことができます。インフルエンザの予防接種も無料で受けられます。		

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	歯の治療の代金は保険ではカバーされないので、渡航前に治療を済ませておくことをお勧めします。また向こうの薬は日本のものより効果が強かったり日本人の体に合わなかったりすることもあるので日本の使い慣れた薬を持っていくといいと思います。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
毎週のように大学内の警察からキャンパス内の犯罪に関するメールが届いていました。たとえキャンパス内でも夜ひとりで歩くのは避けましょう。Dinkytown というところや Downtown も少し怖い雰囲気がしました。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
木から土曜日の夜に電話をすれば無料で車で家まで連れて帰ってくれるサービスや家まで一緒に歩いて帰ってくれるというサービスがあります。夜遅くなったときは遠慮せずにこれらのサービスを使ってください。キャンパス内や寮内は夜になると常に警備員が巡回してくれているので安心でした。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 29 年 3 月	(当初の卒業予定年月 平成 28 年 3 月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input checked="" type="checkbox"/> その他 (具体的に じっくり進路を決めたかったのと教員免許を取得して卒業しようと思ったため)	
現在の状況および今後の予定・進路等	この夏は教育実習に行き、それからは足りていない単位を修得しながら就活活動と卒論に取り組もうと思っています。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	教育学部以外の方で学部3年次の留学と教員免許取得を考えていて1年卒業を伸ばそうと思っているのであれば、帰ってきてすぐの9、10月で教育実習に行くことができ、就活の時期とかぶりません。 単位互換は必ず自分の互換したいものができるわけではないので留学前に計画的に単位を取っておいたほうがいいと思います。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
留学にはいい面、悪い面あると思いますが、私は行ってよかったと自信を持って言えます。留学先の国のことを知るだけでなく、日本のこと自分のことをより深く、違った視点で考えることができました。そして様々な文化や考え方を持った友達にもたくさん出会うことで、自分の視野が広がり、考え方が寛容になったと思います。事前にしっかりと準備や情報集めをして、充実した留学生活を送れるようがんばってください。応援しています。		

1. 学習面について

学習面についてまず日本の大学生生活とは少し違うと感じたことを紹介していきたいと思います。一つ目は、よく言われることですが日本の授業より予習や課題の量が多いということです。私は時期によっては一週間に 100 ページ以上読んでいた週もありました。しかしこの膨大な量をただ読むだけでは全く頭に入ってこず、しかも内容を忘れていたということが多々ありました。そこで私は本の中に直接メモを取り一見するだけでそのページに何が書いてあるかわかるように心がけました。この方法は授業中先生が言った内容を素早く思い出すのに役立ちました。また予習や課題のためにほとんどの生徒は金曜、土曜日以外は勉強という生活リズムの人が多かったように思います。

そして教授との距離が近いのもとても印象的でした。教授の中にはあまり上下関係を気にせず、下の名前と呼んでほしいというような教授も多かったです。そして授業終わりに質問に行けばいつも熱心に答えてくれ、メールでの返信も迅速でわかりやすかったのがかなり助かりました。そしてどの教授も必ずオフィスアワーを設けてくれていてその時間に行けば必ず対応をしてくれました。

また時間をきっちり守るというのも向こうの大学では大切な事だったように思います。授業はいつもほぼ時間通りに始まっていました。さらに日本では少し失礼に思われるかもしれませんが、向こうの学生は 5 分前ぐらいから教科書などを片付け始め、授業の終わりとともに教室を出ることが当たり前でした。アメリカでは時間は自分たちのものであり、尊重されなければならないという考えが一般的なのだと思います。

そして授業中は教授が質問を投げかけても黙って誰も答えないということはほとんどなく、だれか何か意見を言うということが当たり前でした。そして教授もどんな意見も尊重してくれ、生徒との交流を重視しているようでした。それが 30 人規模のクラスであろうが 200 人ほどの大講義であろうが変わらないのは驚きました。そして授業中居眠りをしていたり、携帯で遊んでいたりする生徒はほとんどいませんでした。みんな熱心にメモを取ったり、教授に質問をしていたりという授業が多かったです。

次に知っておくといい情報などについて紹介します。授業選択ですが、交換留学生は授業登録開始時期が普通の学生より遅く、希望の授業が取れないことが多いです。しかし授業の募集がいっぱいになっている場合もとりあえず教授にメールで連絡をし、最初の授業に行ってみることが大切です。向こうの授業システムでは最初の授業に行くということがとても重要でした。そして最初の授業で何人かやめてしまう人がいるのでその空いたところに入れてもらえる場合が多かったです。

また授業中私はボイスレコーダーを使って授業を録音していたりしていました。何か作業をしていたり、教科書の言われたページなどを探していたりすると、授業の内容を聞き逃すことが多かったのが、あとでもう一度聞けるようにしておけることで勘違いを防いだり、授業内容の理解が深まったりしたのでこの方法はお勧めです。

どの授業もかなりレポートを書く機会がとても多いのですが、私は常に **Writing Center** というものを利用して英文の添削をしてもらっていました。**Walk-in** と予約が必要なタイプの二つがあるのですが、予約はいつも一杯のことが多く、私はよく **Walk-in** の方を利用していました。添削をしてくれる方はとても親切で、的確に間違いを指摘してくれ、とても勉強になりました。

そして大学側の生徒の学習に対するサポートが手厚いのはとてもうれしかったです。図書館は毎日午前 3 時まであいているものもありかなり助かりました。さらに期末試験が近づくとはほとんどすべての図書館が 24 時間開いていたり、学校の寮の食堂が無料の食べ物を提供してくれたりと学習に集中できる環境が整っていました。そのほかにも英語第二言語話者のために悩みなど聞いて解決策を考えてくれる機関やレポートの資料などを探す手伝いをしてくれる機関など頼りになるサービスが沢山あり大きな学習の助けになりました。

このように留学中は毎日英語に囲まれた環境で、充実したサービスが受けられるとはいえ、やはりどれだけ留学前に英語力をつけて準備しておくかということが、留学をさらに実りあるものにするためのカギだとおもいます。やれることはできるだけやって、努力した上で留学に臨み、納得のいく留學生活が送れるようがんばってください。

2. 生活面について

ミネソタの冬はとても寒いです。私がいたときは最高気温が -17 度、最低気温が -25 度という日がありました。しかし冬の寒さも年によって違うようでかなり寒い年もあれば、そうでもない年もあるそうです。しかし日本の冬より寒いことは確実なので、この気候に合った防寒器具を用意することが必要です。ミネソタには大きなショッピングモールが何個かあるのでそこで購入することもできます。それほど寒いミネソタですがその分寒さに対する対策はしっかりしています。建物に入れば廊下の方まで温かく快適に過ごせます。また外に出ずに建物と建物を移動するために **Gopher Way** という道があります。**Gopher Way** は迷路のようで少し複雑なのですが、その道の地図があったりや建物の中にその看板があったりするのでそれを利用すればとても便利です。

また私は留学中ボランティアにも挑戦しました。大学の中に **Service-learning Center** というものがあり、面接の予約をとり自分の希望を伝えれば、ボランティアに関する情報を提供してくれます。日本ではできないような体験ができたり、大学外での人々の生活を見ることができたりと学ぶことが多くとても良い経験になりました。

毎週金曜日にはいろんな団体がイベントを開催しています。ミネソタ大学にはいろんな国から来た留学生がいるので、その国ごとの団体があります。その団体が大体金曜日の夕方にイベントを行っています。そのイベントではいろんな国の文化が知れたり、無料の食べ物が提供されたり、新しい人と出会えたりとても楽しいです。この情報は主に **Facebook** のイベントページで見たり、招待されたりして情報を得ていました。また大学の中にボーリング場や無料の映画館などがあり、娯楽施設も充実しています。

大学の中や周りには様々な国の料理のレストランがあり、いろんな料理を試してみるのもとても楽しいと思います。ただ税金とチップ代がかかるので日本のレストランより少し割高に感じました。

また向こうの学生はよく運動をします。ミネソタ大学にはとても立派なスポーツジムがあり、学生であれば無料で使用でき、さらに平日は朝の 6 時前から夜の 11 時まであいています。ランニングマシンや筋トレマシンなどがかなり充実しているだけでなく、ロッククライミングやスカッシュなど珍しいスポーツも体験できます。レクセンターの中だけでなく、天気の良い日には外をジョギングしている人がとても多いです。運動は向こうの学生にとって生活の一部になっています。

留学生の助けになる組織も多くあり、とても助かりました。まず来る前に **IBP Buddy** プログラムという広島大学でいうチューター制度のようなものに登録ができ、そのプログラムを通して、向こうにいる学生と連絡をとり、その人たちが生活面でのサポートをしてくれます。また、**Cross Cultural Discussion** というものもあり、それは登録したいろんな国籍の学生たちが 10 人ほどのグループに振り分けられ、毎週 2 時間ほど様々なテーマで自分の国について話し、異文化理解を深めることを目的にしたものです。また **Tandem Plus** という会話パートナーを見つけることができるサービスもあります。

治安についてですが、ミネソタはアメリカの中では比較的いいほうだと思います。そして毎日夜になるとアルバイトのセキュリティーの人たちがキャンパス内や寮内を見回りしてくれています。ですが、毎週のように強盗や恐喝のような犯罪の情報がメールで届いていたので、夜キャンパス内であってもひとりで歩かないようにしましょう。

